「かかりつけ整体院」を支える、信頼と温もりに満ちた「神の手」の持ち主

人を紹介するということは、簡単にできることではない。責任が生じるからである。それが健康に関わることなら、なおさらだ。そんななか、「あの先生なら絶対に良くしてくれるから」と、誰かに勧められて来院する患者さんが8割を占めるという、まさに信頼の整体院がある。院内には、今日も石川香織副院長の明るい声が響いている。

骨筋医学整体院副院長

石川香織（いしかわかおり）先生

1975年、中国遼寧省大連市に生まれる。学生時代は運動やダンス、読書に親しみ、現在、骨筋医学整体院・本院で朝10時から夕方6時まで休みなしで施術を続けている。毎週テニスに通い、毎晩30分のジョギングという健康的な生活を送る。モットーは元気に働く。小学校1年の息子を育てながら、院長の夫と二人三脚で3店舗の整体院を経営。3店舗ともほぼ毎日、事前予約が殺到して当日の飛び込みが難しいほど、多忙な毎日を過ごしている。

「私の仕事は、患者さんを
苦しみから救うこと。
人生を変える出会い、
そのために日々、
技術を高めているのです」

成果が出ているから紹介の患者さんが多い

東京・大手町から地下鉄東西線→東葉高速線で38分。千葉県八千代市に重症の腰痛はもとより、首痛やひざ痛、股関節痛を診てくれて、しかも「改善率がきわめて高い」と評判の整体院がある。「ここを最後に」と、これら重症患者さんが訪れるのは、八千代緑が丘駅に直結するイオンモール内の「骨筋医学整体院」だ。

設立9年目。歴史が長いわけではない。にもかかわらず県内に3店舗。来年は東京にも進出するという。来院者の数は八千代緑が丘の本院で一日平均30人にのぼる。一年中予約が難しいほど患者さんが詰めかける。年中無休だ。

副院長の石川香織先生のお話を伺うために、同院を訪ねた。イオンモール3階にある本院の前に立つと、ちょうど香織先生のはつらつとした声が聞こえてきた。順番待ちの患者さんや、施術が終わり帰ろうとする患者さんに気さくに声をかけている。

「○○さん、姿勢がまた悪いよ」

「せっかく痛みがなくなったんだから、歩き方にも気をつけて」

そこには「かかりつけ医」ならぬ、「かかりつけ整体院」とも呼ぶべき、打ち解けた空気と温かみがあった。おそらく目の隅に患者さんをいつも捉えていて、姿勢などが悪ければ、すぐに声かけするのだろう。患者さん一人ひとりをそれだけ大事に思っているということだ。

そんな思いは、患者さんにも伝わる。人気の秘密は、そんなところにもあるのかもしれない。香織先生は、しかしそれを否定する。

「いえ。患者さんが求めているのは、あくまで結果です。結果が出ているから来てくださる。痛みが消え、苦しみがなくなる。だから継続的

に通院してくれる。皆さん、家族とかお友達を紹介してくださるんです」

通勤・買い物客の多い立地だから、飛び込みの患者さんが多いものと想像していた。しかし新規の患者さんの、なんと8割は誰かの紹介であるという。

そんななかに薬剤師もいた。「これ伝説の一つです」と、笑いながら話してくれた。ドラッグストアの薬剤師が、薬を買いに来た腰痛を訴えるお客さんに「薬より、もっと頼りになるところがある」と言って、この整体院を紹介したというのだ。まさに「スーパー整体院」である。

3回の施術で40年来のヘルニアが改善した

紹介の患者さんが多いということは、それだけたくさんの信頼を勝ち取ってきたことの、何よりの証拠である。

ただ紹介が増えるほど、慢性化したりしてしまった、難しい患者さんが多くなるであろうことは私たちにも想像できる。整形外科に行くと、「椎間板ヘルニア」とか「脊椎管狭窄症」「すべり症」、そして「原因不明」などと診察され困っている重症の腰痛である。

それまでに整形外科で手術を受けたり、他の治療院を受診したりしたけれど期待する結果が得られなかった人ばかりが、ここにはたくさん来るという。

ひどい腰痛を抱えて悩んでいる知人に、自信を持って整体院を紹介する。そんなことができるのは、本人や家族が、実際に腰痛に悩み、その整体院でつらい症状を改善した「体験のある人」たちであろう。「紹介8割」こそ、何より改善率の高さを証明するものなのだ。

香織先生によると、患者さんが今度は奥さんや旦那さん、ご両親、またお子さんを連れてき

て一家でかかるケースが結構あるという。

たとえば、Mさんという70代の男性。Mさんが40年来の重い腰痛を訴えて、ここに来たときは歩くのもままならなかった。整形外科では椎間板ヘルニアと診断され、手術まで受けていた。けれど、痛みはいっこうになくならない。その後何十年も病院やいろいろな治療を試してみたが、改善の兆しは見られなかった。

そんな腰痛が、今はほとんどなくなった。正常に歩けるようになり、趣味の旅行を大いに楽しんでいる。

驚いたのは、そこまで改善するまでに要した施術がたった3回。「痛みに苦しみ続けた40年は何だったのか」と、Mさんが悔しがったのも無理はない。奥さんや娘さんにも勧めて、今では一家でお世話になっている。まさに家族の「かかりつけ」の整体院というわけである。

確固とした医学的ベースがある

この整体院は、香織先生とご主人の石川篤史院長が、文字通り二人三脚でつくりあげた。高い改善率も、後で述べるように、お二人の不断の努力と切磋琢磨の賜物だ。

ちなみに、石川院長は小社刊『２０１６最新版・腰痛解消！「神の手」を持つ16人』でご紹介した一人。つまり、2人で4本の「神の手」の持ち主という「スーパー整体院」なのだ。

八千代緑が丘の本院に真紅の旗が飾られている。中心に、次のような金文字が記されていた。

「知識技術卓越　人柄人望最高」

治療家として豊富な知識と優れた技術を持ち、人間的にも申し分ないという意味だという。

旗の贈り主は、中国大連市の病院の外科部長。お聞きするとその医師が、お二人の師匠にあた

“W神の手”院長・副院長二人の不断の努力と切磋琢磨で、より高い技術を磨く

るという。日本風に言うなら、旗は「免許皆伝」の印でもあるだろう。

日本で本格的に整体の仕事を始めるにあたり、「最高峰の技術を習得したい」と、お二人は厳しい師匠に相談。「厳しさを覚悟で学びに来るならいくらでも教えよう」と言われ、修業が始まったのである。

取材の始めに、香織先生はこう説明してくれた。「ここでは西洋医学の解剖学に、東洋医学のツボ・経絡・反射区・全身の骨格と関節の調整をベースにしています」と。

ここで言われる「ベース」とは、単なるテクニックの基本ではない。①患部の状態を正確に把握し、痛み・歪みの原因を正確に見抜く。②それに対処する方法を的確に判断する。さらに、③その対処方法を間違いなく実行する。そのためにはベースとなる方法論、あるいは土台となる知識が絶対に必要なのだ。

整形外科医のこの師匠が、西洋医学だけでなく、東洋の医学（鍼灸・あんまなど）の達人だったことは幸運だったと言っていいだろう。解剖学などの医学の基礎を学ぶだけでなく、経絡やツボ、反射区などを徹底的に教え込まれた。

「指導はとても厳しかった。でもそれで、医師の視点から診られるようになったんです」

「医師の視点から診る」とは、西洋医学と東洋医学がそれぞれ積み重ねてきた、人体に関する知識を土台にして、客観的に、また体系的に患者さんを診るということだ。

別の言い方をすれば、単なる勘や個人的経験だけに頼って診るのではない、ということになるだろう。改善率の高さも紹介率8割も、だからこそなのだ。私たちが安心して身を任せられる理由も、まさにそこにある。

ご存じの人も多いと思うが、整体には定められた免許や資格がない。つまり、なろうと思えば誰でも、今日から整体師になれる。しかしそれで痛みを改善したり、骨格や筋肉・筋膜の歪みを調整したりできるかといえば、話は別だ。

整体といっても、ただのマッサージとさして違わないものも少なくないという。「ほぐし効果」なら、それもあるだろう。

しかし痛みや痺れを発生させている骨格や関節、筋肉のひどい歪みには対応できない。そういうひどい歪みに的確かつ安全に対処するには、人体に関する広い知識と、歴史のなかで検証を経てきた確固たる医学的ベースが必要なのだ。

では、この香織先生が実際に行う施術は、どのようなものか。

全身の歪みを調整する「ぜんぶ調整」

この整体院では、「調整」という言葉を使う。背中とか腰に発生する痛みや痺れの原因となる

体験談

眠れないほどの股関節痛が、階段を上り下りできるように！

匿名希望（女性・69歳）

股関節痛で、家の中で立っていても座っていても、寝ていてもつらく、ましてや歩いたり、家の階段を上り下りしたりするときなど我慢できない状態でした。そんなとき、息子の嫁が腰痛で通う骨筋医学整体院にお世話になりました。

通ううちに、どんどん良くなっていくことを実感しました。その年の春、旅行を計画、その途中に1015段の階段があると聞き不安でしたが、なんと自力で上りきることができたのです。しかも、ドライブの走行距離3300キロ、その間もずっと助手席に座り続けられた！　今は夜もぐっすり眠れ、出かけることにも前向きになりました。

うちでは、家族4人がこちらでお世話になっています。待望の赤ちゃんもできました。

体の歪み、ズレ。それらを調整するには、「骨格・関節の調整」と、その骨格・関節を支えている「筋肉・筋膜の調整」が必要である。

そもそも「調整」とは何だろう。

「歪みやズレの生じた骨格・関節。また、その骨格・関節を支えている、収縮したり伸びたりする筋肉。それらを元の位置に、元の状態に設計図通りに戻してやること」だという。

直立歩行を始めたときから、人類は腰痛に悩まされるようになった。体に比して大きく重い頭部。それを柔軟に、しなやかに支えているのが首―背骨―腰（股関節）の、横から見るといくらかS字形になったラインである。S字のバランスが少しでも狂うと、あちこちにトラブルが発生する。

だから背中のラインを中心に骨格と筋肉（筋膜）の「調整」を行うこの施術は、守備範囲が広い。①腰のトラブル、②股関節トラブル（股

関節痛・歩行違和）、③ひざトラブル（ひざ関節痛・O脚・階段昇降違和）、④坐骨神経痛、⑤頭痛・偏頭痛、⑥首コリ・肩コリなどなど。さらには「小顔」のような美容効果、またあとで触れる不妊症にも良い結果が出ているという。

先生がよく使うのは「ぜんぶ調整」という言葉だ。ぜんぶ調整とは、S字ラインをつくっているひざ関節、骨盤と股関節、腰椎、胸椎、頸椎、頭蓋骨、そしてそれらに付随する筋肉すべての調整である。ここでは、この「ぜんぶ調整」が施術の基本となっている。

というのも私たちの体は、各部分が独立して動くのではない。たとえば、骨盤の歪みが原因で起きた腰痛も、やがてひざ、さらには足首にも痛みを引き起こすケースが多いという。

「あぐらとか足を組む習慣、また妊娠などで骨盤が開いてしまうと、骨盤と背骨をつないでいる筋肉が引っ張られ、それで腰が痛くなる。バランスを保とうと股関節が捻れ、大腿骨の上端（大転子）がズレてくる。すると今度はその大腿骨を支えるひざとか、足首が痛むのです」

説明のあと、香織先生は記者に向かって、「見ていると、あなたも体が左に開いています。腰の調子が良くないでしょう。そのうちひざも痛くなりますよ」と、指摘した。

実は20年以上も前にギックリ腰を経験し、それ以降、同じ体勢を続けるとじきに鋭い痛みが始まる。テーブル越しに、短時間向き合って話しただけで、姿勢や動作の癖から、すっかりそれを見抜かれていたのだ。

重症でも施術10回が改善の目安となる

「腰が痛い」という症状は、がんや胆石など内臓の病気がもとで起こるわずかな例外を除くと、いわゆる「腰痛症」がほとんどだ。

体験談

ヘルニアの激痛・痺れが、手術なしで異常なし、通院不要に！

匿名希望（男性・59歳）

痺れと激痛で鎮痛剤なしでは眠れず、足を引きずりながら歩くのが精いっぱいの毎日。

病院の医師によれば、麻痺もあり早期に手術すべきだが、発症部位では内視鏡による手術はできず、全身麻酔による切開が必要とのこと。

ところが、骨筋医学整体院に相談したところ、「ヘルニアで手術が必要と言われている状態でも施術は可能」という説明をいただき、施術を受けることに。週1回のペースで施術を受けたところ、2ヵ月で痛みが取れ鎮痛剤が不要になり、3ヵ月で痺れもまったくなし。そして4ヵ月目のMRI再検査で、「異常なし、通院不要」の診断！ 今は体のメンテナンスに、骨筋医学整体院に定期通院中です。本当に助かりました。ありがとうございます。

初期の腰痛症では、S字形に連なっている骨組みに歪みが生じ、それを支えている筋肉が硬くなったり、伸びたり、骨・関節のズレが神経を圧迫したりするために、痛みが発生するのだ。

これが重症化すると起きてくるのが、組織の損傷。椎間板ヘルニアとか脊柱管狭窄症、脊椎分離症、すべり症などと診断されることになる。

「腰痛には2種類ある」と香織先生は言う。

「上手に筋肉をマッサージすれば改善する軽い腰痛と、それだけでは良くならない重い腰痛です。重い腰痛には触りたくないという治療院も多い。改善が難しいからです。でも私たちの仕事は、後者を専門にしています。患者さんを苦しみから救うこと。そのために日々、技術を高めているのです。人生を変える出会いにしたい」

もう一度確認しておこう。

骨筋医学整体院の「調整」とは、「骨格・関節・筋肉の歪みをなくして、元の位置に、元の

状態に設計図通りに戻す」ことである。

「調整を入れる」という表現も、先生のお話にはたびたび登場する。椎間板ヘルニアのように一部の組織が正常な位置を逸脱し、大きく脱出してしまった場合など、それを元の位置に挿入し直す。組織が損傷し、炎症を起こしていることも多いので、細心の注意を要する技だ。

硬くなった周囲の筋肉を揉みほぐすことから始め、損傷部に触れずに戻すその作業は、誰でもできるものではない。外科医がメスを入れるのにも似た、正確さが求められる。

ここでは車椅子で来院するような重症の患者さんでも、一度の施術で立てるようになり、平気で歩いて帰る例が少なくないという。先生によると重症のケースも、改善の目安は施術5～10回。ただ、かなり重症で複雑な患者さんは3ヵ月が目安で、それでたいていは改善を自覚する。そんな患者さんに登場していただこう。

◎1回目の施術で歩けるようになった

整形外科への通院は苦痛でしたが、ガマンして毎日通いました。でも治りません。電気鍼、マッサージ、気功、ブロック注射など、いろいろな治療を試しました。でも、なんの効果もなく諦めかけたところで、骨筋医学整体院を知ったのです。1回目の施術は少し痛みを感じましたが、もう翌日からウソのように歩けました。長年患った腰痛がこんな短時間で歩けるようになるなんて驚きです。（女性51歳）

◎重症の腰痛＝すべり症が改善

いつものギックリ腰と違う感じがあり、外科を受診。「すべり症」と診断されました。曲がった骨は治らないと言われ、絶望的な気持ちになりました。整骨院にも行きましたが、ひざ、足、背中、肩と、全身に痛みが広がるばかりです。このままでは寝たきりになるのではないかと不安でした。それでも「諦めてはいけない」

と、友人から紹介されて骨筋医学整体院を訪ねたのです。1回目の施術で足の痺れが取れ、それまで引きずっていた足が、普通に歩けるようになりました。ビックリしました。希望が生まれた瞬間です。今まで靴下もはけなかったのに、今は普通に生活を楽しめています。（女性56歳）

腰痛で歩くのも困難だった患者さんが、香織先生のもとに通った結果、毎週ゴルフを楽しめるまでになったという。ちなみに腰痛に限らず、変形性股関節症で歩けなかった患者さんがフルマラソンを完走したり、半年も苦しんだ足底筋膜炎の痛みがわずか2回の施術で消えたなどといった症例が、次から次へと出てくる。

記者も診療ベッドにうつ伏せになり、施術してもらった。背骨と骨盤を中心に先生の手、指先がセンサーのように動き、痛みのポイントを探り当てる。骨盤の歪みも修正してもらった。腰が軽くなり、すでに1ヵ月経つというのに、いつもの鋭い痛みはまったく発生していない。こんな感覚は何年ぶりだろうか。

小顔、頭痛、目の疲れ、不妊症の対策にも

「患者さんの体を素早く理解し、微妙な調整を行うのがとても上手」と、すでに「神の手」と名高い石川院長は香織先生の腕を評価する。

「骨も筋肉も、一人ひとりみんな違います。施術の一瞬一瞬に患者さんの個性を正しく把握し、それに最もふさわしい調整を行ったときに、期待する結果が現れる。それが自然とできているのが、彼女のすごいところ。これは教わってできるものではない。持って生まれた感性・センスだと思います。おまけに、患者さん思いで、とにかく明るくて周りを元気にする」

女性独特の感性のことかと思うと、そうでは

ないという。患者さんの体の、どんな小さな違和も見逃さない洞察力・触診力――これは女性的感性というよりも、多くの難治患者の事例に触れてきた、経験の豊富さからくるものだ、と。

男であるか女であるか、それは治療に関係がない。大事なのは経験と、そこから生まれる判断の的確さ、そして技の冴えなのだ。

ただ、妊産婦に関しては、香織先生が担当する。妊娠は骨盤を歪め広げてしまい、腰痛の原因となることが多い。また背中を反らせる妊婦特有の姿勢のために、背中のS字ラインが伸び切り、背骨や腰に故障を抱えるようになるのも珍しいことではない。

ご自身も出産を経験しているからこそ、妊婦さんも安心して身をあずけられるだろう。

「人の体は不思議がいっぱいです」と香織先生。次ページの体験談のように、それまでの歪みが除かれると、不妊症の人でも妊娠可能になることが多々あるという。すでに20代～40代の何人もの不妊症の人に赤ちゃんが誕生している。

次に紹介するのは、香織先生の施術を受け、腰痛や肩コリが改善したら、待望の赤ちゃんを授かったという女性の声だ。

◎今は産後のケアでお世話に

腰痛・肩コリが楽になればと思い通っているうちに、待望の第一子妊娠を知りました。妊娠など想像もしていないことだったので、とにかく驚きました。歪んでいた骨格・骨盤も正しい位置に戻ったのが良かったと思います。今、産後のケアでお世話になっています。（36歳女性）

◎諦めていた自然妊娠に成功

産後の腰痛や体の歪みが気になり、骨筋医学整体院に通い始めました。

そんなころ、考え始めたのが2人目の妊娠。1人目はなかなか授からず、最後は体外受精に

香織先生の施術で、諦めていた赤ちゃんが……。こうした例が数多くあるという

頼った経験があります。年齢のこともあり、自然妊娠は諦め、また病院に行くつもりでした。ところが、「来月から病院に行こう」と決めたその月に、なんと自然妊娠しているとわかりました。香織先生は不思議がるでもなく、「こういうことはよくあるよ」と言ってくれました。

いつも心配してくださる香織先生は、私にとって「主治医」のような存在です。（40歳女性）

香織先生が施術するのは、腰痛だけではない。頭痛、ひざ痛、股関節痛、側弯症も、「実は私たちはとても得意としています」と言う。

「頭痛は、悩んでいる時間がもったいないです」と香織先生はきっぱりと言う。偏頭痛から吐き気があるものまで、どんなガンコな頭痛にも素早く対応できるという。また、階段の上り下りが痛くて困っているという人の、ひざ痛も同じ。変形性から原因不明のものまで、水が溜まって腫れている、正座ができない、歩くのがつらいなど、ほとんどの症状は回復するという。

「施術で、痛みの8割は取れ、手すりにつかまらず階段の上り下りができるようになります。何年もひざ痛で悩んでいる方でも、ほとんど痛みがなくなります。ひざ痛は、実は、ひざだけ治療してもあまり改善しません。その痛みの原因を探して、施術しないと改善しないのです」

側弯症で来院する人も非常に多いという。

「骨を一つひとつを動かしていくので、改善する割合が高い」と香織先生。ずっと側弯症で悩んでいたが、香織先生のもとに通うようになって、健康診断で「異常なし」という結果が出るようになった人が何人もいるそうだ。

「彼女は、この仕事が本当に好きなんですよ。努力しているという感覚はあまりないと思う。改善をもっと早めるにはどうしたらいいか、もっと効果的な施術はないかなどと、四六時中考え、勉強していますね。家の6畳の一部屋は施術・治療関係の本でぎっしり埋め尽くされています。本当に頭が下がりますね」

しかし、それは石川院長も同じだ。一日の仕事が終わると、必ず二人で「今日はこんな患者さんがいた」という話になる。食事中も車に乗っているときも、こういう施術法もあるのではないか、こうするほうが早く改善するのではないか。夢中になって検討するうちに、夜中の2時3時になることも珍しくないという。改善率の高さも、こうした地道な努力、切磋琢磨があってのことなのだ。

もう一つ、成果をより確実なものとするために、この整体院が採用している工夫がある。「点数制」だ。患者さんによる評価システムである。施術のあと、痛みのなかったときを「0点」、一番痛かった状態を「10点」として、現在のレベルを点数で示してもらう。数字が下がらなければ、施術は役立っていないということだ。

結果がハッキリ示される。自分の痛みの点数が出るので言い訳はできない。「適当な言葉」だけで逃げられない。患者さんも曖昧な印象ではなく、効果をより厳しく意識する。施術者にとって、これほどキツイことはない。けれどあえて「点数制」を採用し、問題点をあぶり出し、調整の質をさらに上げようとしているのだ。年々独自技術が進歩していくのもうなずける。

ただ、「神の手」がいかにすごくても、その手で施術してもらえなければ意味がない。しかし、ここでは必ず院長先生か香織先生が調整を担当している。さらにスタッフ教育も熱心で、ひんぱんに勉強会があり、技術向上の努力が全スタッフに求められる。それも神の手レベルの技術で、みんな喜んで参加するという。他の治療院では難しいケースも、ここではどんどん改善する。それを目にしているからだ。

多くの患者さんが院長先生、香織先生に大きな信頼を寄せているのは間違いない。

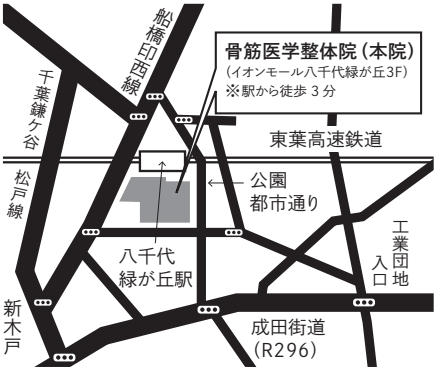
ACCESS DATA

骨筋医学整体院

本　院

〒276-0049
千葉県八千代市緑が丘 2-1-3
イオンモール八千代緑が丘 3 階
TEL・FAX　047-409-3062
http://www.honekinseitai.com/

●営業時間
10：00 ～ 22：00（年中無休）



支　院

●ほねきん改善院　もみ猿
〒274-0063　千葉県船橋市習志野台 1-35-1　西友　新北習志野店 1 F
TEL 047-468-7889（北習志野駅／年中無休）

●ほねきん改善院 & Wai-Wai フィットネス
〒273-0107　千葉県鎌ケ谷市新鎌ヶ谷 2-12-1　アクロスモール新鎌ヶ谷 1F
TEL 047-407-1109（新鎌ヶ谷駅）